

(様式 1-3)

福島県(浪江町)再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成 26 年 6 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	7	事業名	浪江町公的賃貸住宅整備基本計画策定事業	事業番号	(1) - 1
交付団体	浪江町	事業実施主体(直接/間接)	浪江町(直接)		
総交付対象事業費	39,960(千円)	全体事業費	39,960(千円)		
再生加速化に関する目標					
<p>浪江町の再生にあたり、住環境の整備は最も重要な課題である。平成 26 年 3 月に策定された「浪江町復興まちづくり計画」では、ふるさとの再生に向けた住環境の整備として①自宅や民間賃貸住宅による住宅の確保、②自力での住宅の確保、③復興公営住宅の整備による住宅の確保の 3 つの取組みを掲げており、本事業ではこの中でも③に定める住宅整備に向けた基礎となる調査・検討を実施し、基本計画を策定する。</p> <p>本事業により早期に町内での住宅整備イメージを示すことで、町民の帰還への思いを繋ぐことができ、ひいては、避難指示解除後の浪江町の再生加速に重要な役割を果たすものである。</p>					
事業概要					
<p>町内での住環境を整備するため、浪江町公的賃貸住宅整備基本計画等に基づいて公的賃貸住宅を建設する(現時点では、平成 25 年 8 月に実施した住民意向調査を基に、65 戸の整備を想定)</p> <p><浪江町復興まちづくり計画 22 頁></p> <p>○復興公営住宅の整備による住宅の確保</p> <ul style="list-style-type: none">・町内での生活を再開する上で住宅を確保できない町民のために、避難指示解除に合わせて、順次、入居が可能となるよう復興公営住宅を整備します。・町内の復興公営住宅は、居住対象者の意向に応じて、戸建・長屋・2 戸 1 棟・集合タイプなど様々な住宅タイプについて検討し、ニーズに対応した整備を進めます。・高齢者の入居に配慮し、食堂などの共用スペースや介護を受けやすいレイアウトの住宅整備を検討します。・入居者の交流や潤いのある生活を実現するため、住宅タイプや整備戸数に応じて集会所や菜園スペース等の併設を検討します。 <p>※なお、まちづくり計画では“復興公営住宅の整備”としているところであるが、本事業では、福島再生加速化交付金に定められる、復興公営住宅と同等の機能を持つ公的賃貸住宅を整備する。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<p><平成 26 年度> [39,960 千円]</p> <p>1 公的賃貸住宅整備基本計画策定</p> <ul style="list-style-type: none">①別途実施する住民意向調査(復興庁・福島県・浪江町共同実施)の結果を分析し、町内での公的賃貸住宅の全体整備戸数を把握する②復興まちづくり計画に示す整備候補地を基に、整備地域、戸数、建物の形態(集合・戸建て、RC 造・木造など)、間取り、付加施設(商業施設、福祉施設)等について、町民や町内不動産事業者、有識者とともに検討する③建設及び管理手法について検討する④入居者の選定方法について検討する					

2 公的賃貸住宅整備基礎調査

- ①候補地の現況を把握するため、現況測量調査を行う
- ②候補地の地盤調査のため、ボーリング調査等を行う

地域の再生加速化との関係

浪江町は、地震、津波の自然災害に加え原子力災害の被災地であり、住宅の被害も、地震による損壊、津波による流失、原子力災害による高線量化、長期避難による野生動物被害など様々であり、避難指示を解除してもすぐには自宅に戻れないことも想定される。町内で生活できる場所を確保することで、浪江町の再生加速化に寄与するものである。

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--